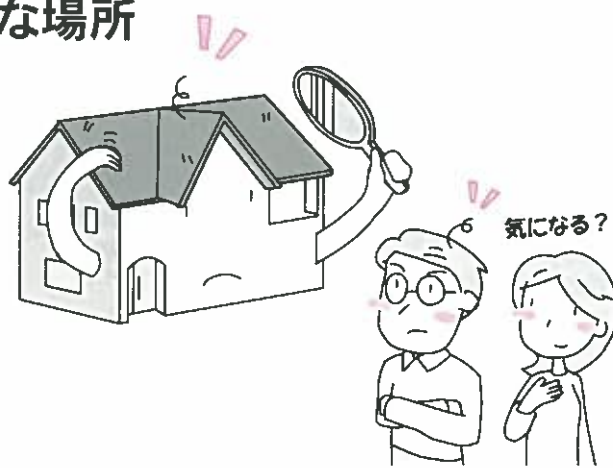


1 屋根は壁以上に重要な場所

壁と異なり屋根は目につかないので普段はあまり気にならない場所ですが、壁以上に風雨や直射日光など過酷な環境にさらされており、知らず知らずの間に劣化が進んでいることがあります。屋根もメンテナンスをしっかりとっておけば、雨漏りから守り、家の耐久性をアップしてくれるだけでなく、暑い夏でも快適に過ごせる住空間にできるのです。



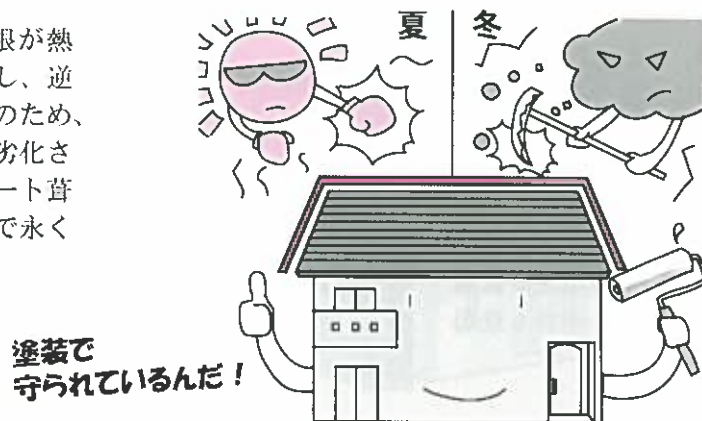
理由3

過酷な環境にある屋根は耐久性と快適性のポイントです

屋根の塗装で快適性も大幅アップします

2 温度変化の被害も塗装がガード

直射日光が照りつける真夏は屋根が熱くなり材料自体が傷んでしまいますし、逆に冬場は屋根が最も冷やされる場所のため、浸み込んだ水分が凍りついて屋根を劣化させたりします。洋風住宅に多いスレート葺きの屋根は定期的な塗装をすることで永く品質を維持することができるのです。

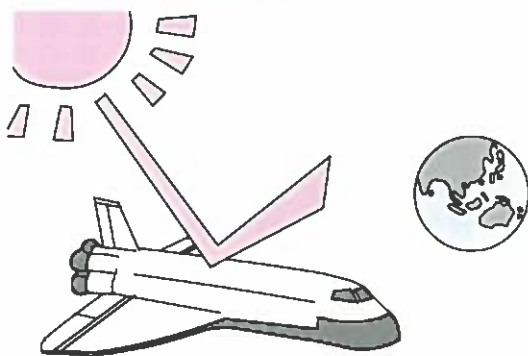


3 蒸し暑い夏が快適に

夏場の屋根の表面温度は70度にもなると言われ、室内も蒸し暑くなってしまいます。最近はこの屋根の温度上昇を抑える遮熱塗料という商品が登場しました。遮熱塗料を塗ると屋根の温度は15~20℃下がり、屋根裏の室内の温度も下げることができます。家によっては体感温度を大きく下げることができ、快適性も大きくアップさせることができるのです。



知っておきたい豆知識



飛行機の技術が生んだ遮熱塗料

屋根が太陽の光を浴びて熱くなるのは、太陽エネルギーの50%を占める赤外線的作用です。次世代の屋根用塗料として注目されている遮熱塗料は飛行機の技術が生んだ塗料です。遮熱塗料は見た目も施工も普通の塗料と同じですが、中に入っているセラミックス粒子が主な熱源となる近赤外線を反射することで、屋根の表面温度を15~20℃下げることができます。